

奥州湖周辺エリア活用整備構想【概要版】



令和6年3月
奥州市

奥州湖周辺エリア活用整備構想の位置付けと目的

奥州市総合計画 ～地域の個性がひかり輝く 自治と協働のまち奥州市～



誇りと幸せを実感できるまちづくり ～人口プロジェクト～
(第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

世界へ発信するまちづくり ～ILCプロジェクト～
(奥州市ILCまちづくりビジョン)

総合戦略の基本目標
達成に向けた横断的な
開発プロジェクト

奥州市未来羅針盤図 ～市が目指すまちの開発デザイン～

全市展開
地域医療奥州市モデルプロジェクト
未来型公共交通プロジェクト
小さな拠点づくりプロジェクト

水沢市街地エリアプロジェクト
江刺市街地エリアプロジェクト
前沢市街地エリアプロジェクト
奥州湖周辺エリアプロジェクト
水沢江刺駅周辺エリアプロジェクト

プロジェクト
推進の基本的な
方向性を整理



奥州湖周辺エリア活用整備構想

目的

- 豊かな自然や地域資源を活かしたアウトドアアクティビティの振興
- アウトドアアクティビティを軸とした滞在型観光（アウトドアツーリズム）の推進
- 奥州湖周辺エリアを拠点としたアウトドアツーリズムの構築
- 市民のアウトドア活動の推進

奥州市におけるアウトドアツーリズム構築の課題

課題

1. 市内周遊、滞在時間延長のための対策

- 二次、三次交通の不便さ
- レンタカーや自家用車によるドライブ観光が主となっている
- 市内での滞在時間・観光消費額が少ない
- 滞在型観光を促すための商品、仕組みを作る必要がある

2. 受け入れ体制の整備

- レンタルサービスの整備（スポーツサイクル、E-BIKE など）→三次交通としてのレンタサイクル活用
- ガイド、アクティビティ関連事業者の不足（人材育成）
- アウトドアツーリズムに対する市民の理解と関心を高める必要がある

3. アウトドアアクティビティに関する情報発信

- アウトドアアクティビティ、フィールドに関する情報を整理・集約する必要がある
- 効果的なプロモーション（情報発信）を展開していく必要がある

4. 訪日外国人旅行者（インバウンド）への対応

- インバウンド市場を十分に取り込めていない
- 外国人観光客に対応した受け入れ環境や体制の整備、効果的なプロモーション

5. 広域連携によるアウトドアツーリズムの取り組み

- 近隣市町の連携を強化する必要がある（広域サイクリングルートによる周遊性向上など）
定住自立圏構想（北上市・金ヶ崎町・西和賀町）、世界遺産連携推進実行委員会（平泉町・一関市）、
伊達な広域観光推進協議会（仙台市・気仙沼市・南三陸町・大崎市・松島町・塩竈市・平泉町・一関市・最上町）

奥州湖周辺エリア活用整備構想の基本方針

基本方針

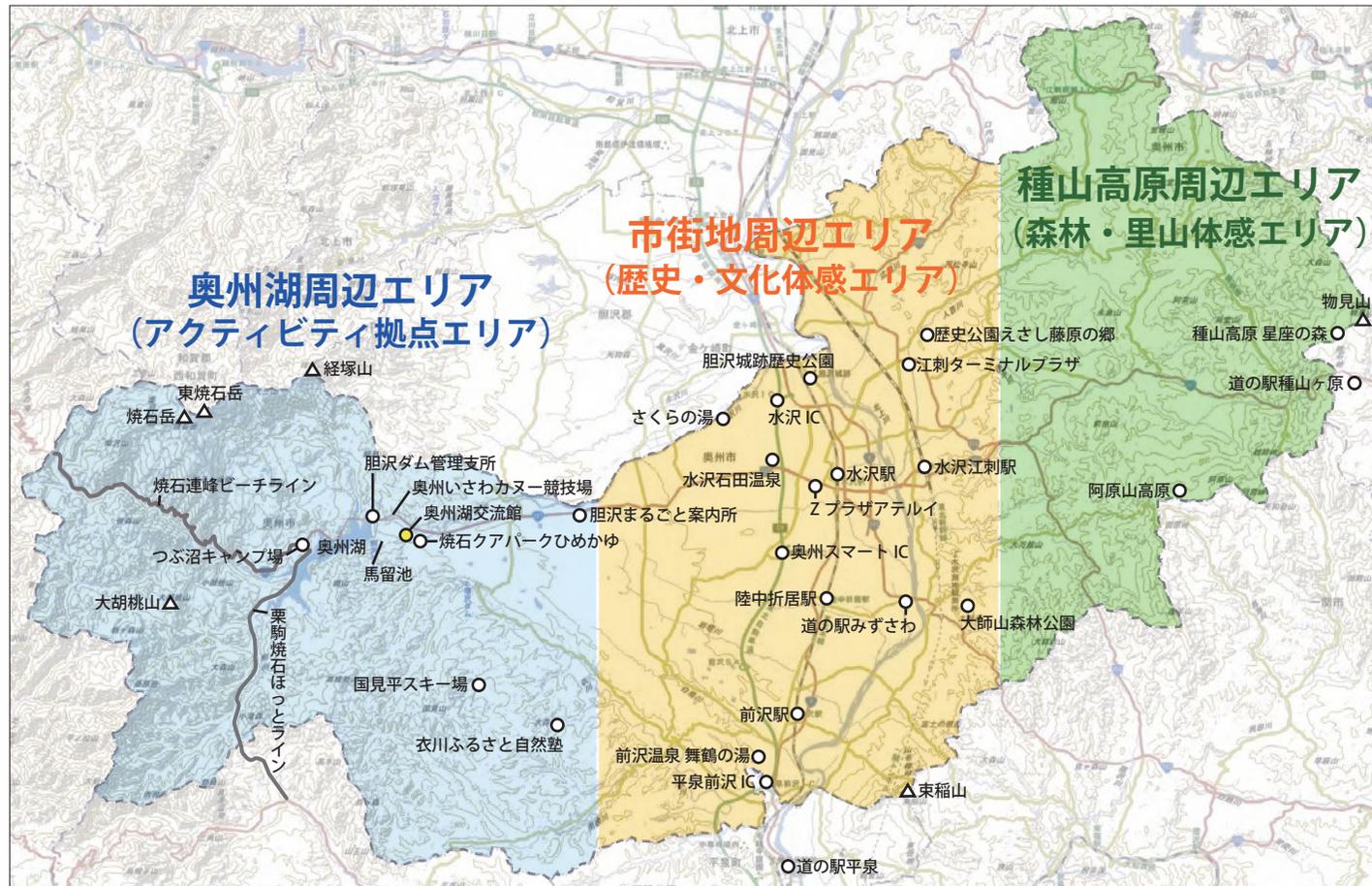
1. 地域資源・アクティビティの磨き上げ

2. フィールド整備、拠点施設整備

3. 受け入れ体制の整備、人材育成

4. 情報発信（誘客プロモーション）

基本エリア



< 本市のアウトドアツーリズムにおける基本エリア >

【奥州湖周辺エリア】

パドルスポーツの拠点
焼石岳登山の拠点
幅広くアクティビティを楽しむことが可能
=アクティビティ拠点エリア

【市街地周辺エリア】

交通拠点（本市観光の玄関口）
宿泊施設、観光施設が集中
歴史・文化資源が点在
=歴史・文化体験エリア

【種山高原周辺エリア】

種山高原でのトレッキング
北上高地のなだらかな山並み
麓に広がる田園地帯
=森林・里山体感エリア

奥州湖周辺エリア活用整備構想の基本施策

1. 地域資源・アクティビティの磨き上げ

- 市内の魅力あるアウトドアフィールド・アクティビティの開拓
- アウトドア体験プログラムの充実
(登山・トレッキング、サイクリング・マウンテンバイク、パドルスポーツ、自然観察 など)
- 地域資源を融合したルート、ストーリーに沿った周遊ルートの開発



＜本市のアウトドアツーリズムにおけるモデルルート＞



奥州湖周辺エリア活用整備構想の基本施策

2. フィールド整備、拠点施設整備

- 標識の整備
- 二次交通の充実、レンタルサービスの充実
- 既存施設へ協力を呼びかけ地域全体での連携を強化
- アウトドアツーリズム拠点となる施設の整備



< 本市におけるアウトドアツーリズム拠点候補地の分布 >

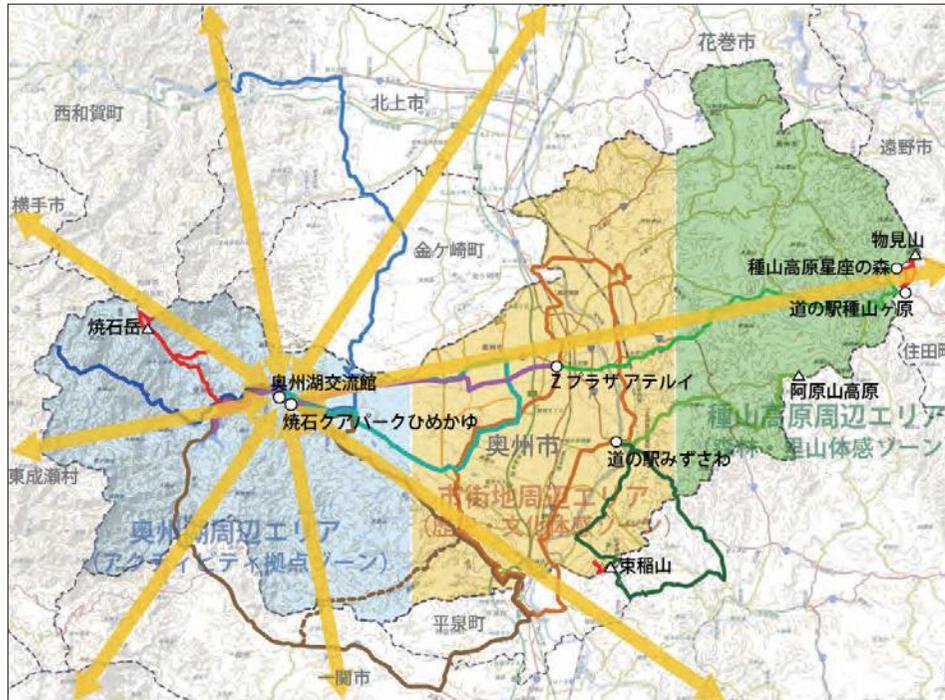
アウトドアツーリズム 拠点候補施設

- 1) 奥州湖交流館
- 2) 焼石クアパークひめかゆ
- 3) Zプラザアテルイ
- 4) 道の駅みずさわ
- 5) 種山高原星座の森
- 6) 道の駅種山ヶ原 (住田町)

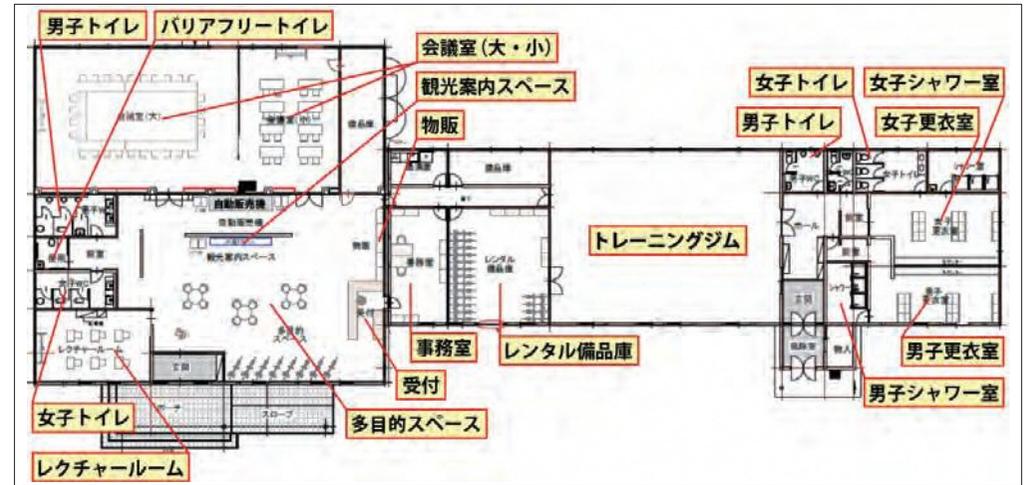
奥州湖周辺エリア活用整備構想の基本施策

2. フィールド整備、拠点施設整備

■ アウトドアツーリズム重要拠点（アクティビティ拠点）



＜奥州湖周辺エリアを核とした市内外の周遊イメージ＞



＜重要拠点・奥州湖交流館の整備イメージ＞

【奥州湖交流館再整備の方針】

1) アウトドアツーリズム拠点としての機能強化

- アウトドアツーリズムの玄関口
- アウトドアアクティビティの拠点
- SDGsの推進拠点

【強化する機能】

インフォメーション、体験イベント・ツアーの開催、レンタル、交流拠点（多目的スペース、休憩スペース）、物販、Wi-Fi整備

2) カヌー競技のトレーニングセンターとしての機能強化

【強化する機能】

トレーニングジム、会議室、レクチャールーム、シャワー室、更衣室の利便性向上（ロッカー設置）

奥州湖周辺エリア活用整備構想の基本施策

3. 受け入れ体制の整備、人材育成

- アウトドアツーリズムの統括組織
行政、観光・アクティビティ関連事業者が一体となった組織づくり
- 地域の「おもてなし」意識の醸成、インバウンドに配慮した整備の推進
- 人材育成（アウトドアガイド）→地域全体の受け入れ規模の底上げ

4. プロモーション（情報発信）

- アウトドアアクティビティやガイドツアーに関する情報の集約・発信
- アウトドア愛好家への情報発信、マスコミ向け情報発信

基本
施策

【モンベルのネットワークを活用した情報発信】

- ◆ モンベルクラブ会員114万人へのPR
- ◆ モンベルストア店頭（全国125店舗）でのPR
- ◆ モンベルふるさと納税プログラム
- ◆ メールマガジン、公式SNSへの情報掲載
- ◆ モンベルイベント部門との連携（ツアー造成）



【ジャパンエコトラックを活用した情報発信】

The map shows the following locations and numbers:

- 北海道: オホーツク 13, 大雪ひがしかわ・南富良野 10
- 東北: 宮城県 鳴瀬川・薬菜山 7, 山形県 蔵王 14, 宮城県 みやぎ県南浜街道 16, 山形県 山形 蔵王 4, 福島県 香妻・安達太良・雲山・松川浦 18, 福島県 奥久慈街道 24
- 関東・甲信越: 栃木県 日光 32, 千葉県 九十九里 31, 長野県 信越自然郷 3, 長野県 八ヶ岳・諏訪湖 33
- 関西: 滋賀県 びわ湖・伊吹山 5, 滋賀県 北びわ湖・長浜 11, 兵庫県 六甲山・甲子園 20, 兵庫県 宍粟 26
- 中国: 鳥取県 隠岐 島後 28, 鳥取県 鳥取 11, 岡山県 鏡野 25, 山口県 山口 29, 下関・美祿・長門 29
- 四国: 愛媛県・高知県 石鐘 19, 高知県 土佐れいほく 8
- 九州・沖縄: 鹿児島県 南さつま 17, 宮崎県 えびの 21
- 東海・北陸: 富山県 立山 27, 愛知県 東三河 23, 三重県 伊勢 熊野 15, 福井県 九頭竜川・荒島岳 22, 石川県 いしかわ里山里海 9

The brochure for '日光' (Nikko) features the title '日光' (HIKKO) and the tagline '自然と歴史、文化に彩られた日光をめぐる旅'. It includes a scenic photo of a lake and mountains, and icons for hiking (4 hours), wheelchair access (8 hours), and a bicycle route. The bottom of the brochure has the 'JAPAN ECO TRACK' logo.

奥州湖周辺エリア活用整備構想の推進体制（案）

